



大田・生活者ネットワーク 区議会レポート

きたざわ潤子

きたざわ・じゅんこ

発行責任者：北澤潤子 〒144-0052 東京都大田区蒲田 4-42-3 イースタンコーポ蒲田 302
TEL：03-6424-7561 FAX：03-6424-7562 E-mail：oota@seikatsusha.net
大田・生活者ネットワークホームページhttp://oota.seikatsusha.me



<http://kitazawa.seikatsusha.me> 子どもたちの未来のために今、大切なこと

●大田・生活者ネットワークきたざわ潤子の活動を紹介します。

区議会・第2回定例会の報告

「香りの害」を知っていますか 香りの元となる「揮発性有機化合物」が 体調不良の原因になることも



6月13日から24日まで第2回定例会が開催され、大田・生活者ネットワークは「香りの害」について質問しました。

香りに関係するコマーシャルをみない日はありません。香り付き柔軟剤、消臭除菌スプレーや制汗剤など日常的に香りに囲まれていると言えます。しかし香りの元となる人工香料が「揮発性有機化合物」であるため、化学物質の影響で体調不良を起こす人がいます。

現在、日本では人工香料の安全性の評価がされておらず、業界の自主規制に任せられ、成分表示さえされていません。特に最近の人工香料は香りを持続させるために香料成分を閉じ込めたポリウレタン製のマイクロカプセルが使われます。その材料のイソシアネートは、ごく低濃度でもアレルギー反応を起こしやすく、発ガン性もあるといわれています。欧米では厳しく規制されていますが、日本では規制がありません。しかし具体的な法的規制がないからといって、このまま商業ベースに流され続けると健康被害も懸念されるところです。受動喫煙の問題と同じように知らず知らずのうちに「害」を受けてしまう危険性があるのです。一度「化学物質過敏症」を発症すると今はまだ、効果のある治療法も治療薬もなく、日常生活に著しい支障をきたします。これは特に成長過程にある子どもの保護者にはぜひ知っていただきたい問題です。

そこで大田区に対しては、区民への周知・啓発や相談窓口の設置を求めましたが、残念ながら、「香料に含まれる化学物質による健康被害については病態や発症のメカニズムが未解明である」という理由で、積極的な取り組みはしないということでした。

きたざわ潤子プロフィール (きたざわ・じゅんこ)

- 高知県生まれ、宮崎・福島・埼玉育ち ■大田区池上2丁目在住 ■東洋英和女学院短期大学保育科卒業 ■日本女子大学通信教育課程家政学部児童学科卒業 ■幼稚園16年間勤務(めぐみ幼稚園、こひつじ幼稚園他)、嶺町幼稚園非常勤講師 ■日本保育学会会員 ■2011年～大田区議会議員(現在3期目) ■健康福祉委員会、羽田空港対策特別委員会

INFORMATION

OTA未来カフェ (参加費無料)

- 日時：8月24日(土) 14:00～16:00
「難病ALSについて」
社会参加するための課題など、ご家族の方からお話を伺います。
- 日時：9月5日(木) 14:00～16:00
「ホームスクーリングについて」
ホームスクーリングとは学校には通わず、家庭に拠点を置いて学習の仕方。実践をしているご家庭の話をお伺いします。

3.11を忘れない ～3.11を風化させないために～

- 日時：8月11日(日) 18:00～19:30
参加費：300円(軽食付き)

いずれも大田・生活者ネットワーク事務所にて
大田区蒲田4-42-3 イースタンコーポ蒲田302
(環8沿い、蒲田郵便局斜め向かい、釣具屋上州屋の3階)
お問合せ・申し込みは
TEL：03-6424-7561 FAX：03-6424-7562
E-mail：oota@seikatsusha.net

大田・生活者ネットワークは、これまで生活協同組合をはじめとした市民運動の方たちとともに、大田区の学校現場をはじめ、公共施設において合成洗剤ではなく、健康にも生態系にもやさしい「せっけん」を使用することを要望してきていますが、引き続き“化学物質の健康への影響”に注目し、健康被害への予防対策、「香害」の周知・啓発に取り組んでいきます。